

塗装職人を目指そう！

塗装業界

Q&A集



～君のその手が価値になる！塗装業界の素晴らしい世界～

宮城県立仙台高等技術専門校

塗装施工科

Q 塗装の仕事は何をされているのですか。

A 塗装の仕事とは、建物や各種製品に、耐久性を持たせる**保護と美観の為に塗料を塗る仕事**です。

種類としては、建築塗装、金属塗装、木工塗装で、企業により分野の違いはありますが、建物を塗装する場合は、実際の現場で足場を掛けて、刷毛やローラを使う作業や機械工具のスプレーガンを使っての塗装作業が多いです。

工場での塗装は塗装ブースと呼ばれる専用スペースで機械工具を使って粉体塗装や静电塗装、溶剤吹付作業が主となります。



建物の壁にローラーを使って塗装をしているところです



小型建設機械に塗装をしているところです

Q 1日の仕事の流れはどうなっていますか。

A 建築塗装会社の場合、会社に出勤し作業現場に向かいます。到着後、朝の朝礼を行い、一日の作業内容の確認を行ってから作業を開始します。作業は現場の長（職長）に指示された作業を行います。

休憩は午前・午後 1 回各 15 分～30 分程度です。昼休みは 1 時間です。現場の工期、天候、作業内容等により若干の変動はありますが、午後 5 時に現場から会社へ戻るといのが一般的な流れです。

工場塗装を主としている会社は、7 時間から 8 時間で交替制を採用している会社もあります。これは生産ラインを効率的に稼働させるためであり、午前 6 時 30 分から午後 3 時、午前 8 時 30 分から午後 5 時までの二交替制などです。

Q 将来、仕事が無くなったりして不安定ではありませんか。



建物の壁に刷毛を使って塗装しているところです

A 建築塗装の住宅に関して見れば、昔に比べ建築資材があらかじめ工場で塗装されてきている資材が多くなり、塗装の範囲が減ってきている傾向はあります。

しかし、建物がある限り、メンテナンスは行わなければなりません。橋等の公共物のメンテナンスは定期的に行われています。そのため、塗装の分野は必ず必要になります。

また、最近では特殊塗装技術、施工方法も開発されており、その技術を身に付けていけば、様々な塗装の分野に対応できるので、仕事が無くなる不安は解消できます。

Q 塗装の仕事は屋外でやるので暑かったり寒かったり大変ではありませんか。

A 塗装の仕事は屋外が多いので、確かに気温の変化に対応するには大変かもしれませんが、塗装業に限った問題ではありません。作業環境を改善するため、足場に遮熱性のネットを施したりしている会社もありますので、日々仕事がしやすい環境になってきています。また、そんな状況でも、お客様から暖かい感謝の言葉や喜びの声を掛けて頂けると、「もっと良いものを作ろう！」「もっと頑張ろう」という励みになります。

Q 高い所での作業は危険ではありませんか。

A 高所での作業は危険を伴う作業ではありますが、現在、建築現場では安全意識の高揚が図られ「安全」こそ、なにものにも優先するという考えのもと、安全設備、保護具の着用・使用の徹底が図られています。また、入社時に安全衛生に関する教育を行うことになっています。

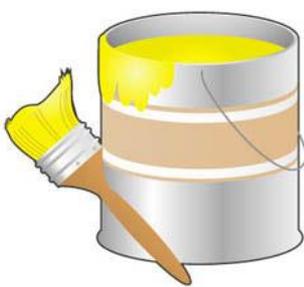


Q 体力が無いと仕事はできませんか。

A 他の建設業種と比較すると、極端な力仕事は少ないと思います。しかし、約16kgから20kgある塗料缶（一斗缶）を、せまい足場の上で抱えて運んだりすることもあります。従って、ある程度の基礎体力は必要になります。

Q 塗料は身体に有害ではありませんか。

A 塗料の種類によっては有害なものもありますが、取扱いについては、有機溶剤作業主任者の講習を受講させ安全に取扱うよう配慮がなされています。



また、「特定化学物質障害予防規則」で塗料の成分における有害物質の含有量が規制されています。そのため、人体や環境への影響を考慮した水性塗料が普及し、無害な塗料が格段に多くなってきています。

このことは、お客様や塗装施工者に対して、各塗料メーカーが常に改良を重ねて安全な塗料を開発してきている結果です。

Q 塗装の仕事は面白いですか、つらいですか。

A 作業内容や季節によっては、つらく感じることもあるかもしれませんが、塗装の仕事は自分で作業した箇所が常に表にあらわれます。努力した分だけ、建物や製品が綺麗になり、お客様に喜んで頂いた時は達成感を得ることができます。

また、現場、天候、人員とあらゆる状況で工程や段取りが変わってきますので、より効率的、経済的に現場が竣工した際の喜びはなんにもものにも変えられません。そこが塗装の仕事の面白さとも言えます。



Q 職場に若い人はいますか。

A 会社の規模はさまざまですが、高齢化が進み若者が不足しています。このことで、塗装業界では、年輩者の知識と技能を受け継ぐ若い人材の確保が急務となっています。

Q 勤務時間はどうなっていますか。

A 朝8時～8時30分ごろ始業、夕方5時～6時ごろ終業の会社が多いです。仕事の内容により、早出や残業、夜間作業がある会社も有りますが、これらは時間外手

当の対象になります。

Q 土日は休みをもらえますか。

A 会社により異なりますが、日曜祝日を休日、長期休暇としてゴールデンウィーク期間中の連続休暇・夏季休暇・年末年始休暇としている会社が多くなっています。また、会社カレンダーにより休日を定めている会社もあります。

Q 健康保険や厚生年金の制度はありますか。

A 健康保険、厚生年金・雇用保険・労災保険制度に加入している企業が増えてきました。

社会保険加入は公共工事や規模の大きい工事現場での仕事を受注するための参加条件になってきているために、社会保険加入業者が増えています。



Q 塗装会社の給与水準を教えてください。ボーナスや退職金がありますか。

A 会社により異なり、日給月給制と月給制の会社があります。初任給は月額 15 万円～18 万円位の会社が多い傾向にあります。

ボーナスに関しては年 2 回支給の会社が多く、何ヶ月分と固定ではありません。会社の利益に比例した支給となることもあります。

退職金については、建設業退職金共済制度または中小企業退職金共済制度に加入している会社が多いようです。

Q 塗装会社の規模、地域別の数を教えてください。

A まず、地域別の数として宮城県塗装業組合連合会に加盟している企業数は 159 社になります。

(仙台支部 94 社・塩釜支部 26 社・仙北支部 14 社・石巻支部 14 社・仙南支部 7 社・気仙沼支部 4 社)

しかし、県内の塗装業事業者は、震災復興工事による県外からの進出企業もあり宮城県塗装業組合連合会に加盟していない企業も多々あります。また、一人親方として個人経営をしている会社もありますので、現状の数は把握できません。

また、建築塗装会社の規模ですが、約 5 人～10 人規模の会社が約半数を占めます。20 人を超える企業や、2 人～3 人の会社など規模は様々です。

*宮城県立仙台高等技術専門校塗装施工科では、建築塗装を中心に訓練を行っており、就職先は一般建築塗装会社へ入社する学生が多い傾向にありますが、その他製造業塗装部門への就職実績もあります。

塗装施工科主な就職先（敬称略）

株式会社高野塗装店・古川工業株式会社・中央鋼建株式会社・有限会社サイトウ水門
株式会社バーンリペア・有限会社山徳・株式会社佐藤内装・有限会社ワタナベ塗装
株式会社さんのう・有限会社ティーケー塗装・有限会社稲富塗装店・株式会社ユウキ
トウペカラーサービス株式会社・株式会社シンワ・有限会社泉塗装・株式会社太宰
ペイント工業株式会社・株式会社中川原塗装・有限会社宮城塗装・株式会社大広塗装工業
株式会社明和・ワタナベペイントサービス ほか



実習棟の屋根をローラーを使って塗装しています



学校駐車場の白線の引き直しをしています



小型建設機械をスプレーガンで塗装しています



実習場の連絡橋の柱を刷毛で塗装しています